

A decorative border with floral motifs in the corners and a thin line connecting them.

令和元年第3回富谷市議会臨時会

市長挨拶

令和元年8月13日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

本日ここに、令和元年第 3 回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、提出議案の説明に併せて、一言、ご挨拶を申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

長引いていた梅雨も先月末には明け、連日、暑い日が続いております。昨年とは一転して、7月は低温と日照不足が続き、農作物への影響を心配しておりましたが、梅雨明け後は好天に恵まれ、これまでの遅れを取り戻せるのではないかと期待しているところです。

また、7月31日から8月3日にかけて、3年目となる「中学生海外研修派遣事業」を実施いたしました。5月に、研修先である台湾桃園市私立有徳雙語とうえんししりつゆうとくそうごちゅうしょうがく中しょうがく小 學の中学生が本市にお越しになり、ホームビジットを行うなどの相互交流に発展しましたことから、今年は私が団長を務め、台湾を訪問し、現地の中学生との交流を深めてまいりました。本事業を通じて、生徒の皆さんの成長が目に見えて実感でき、次代を担う中学生の皆さんを非常に頼もしく感じたところです。

さて、本臨時会につきましては、先日 6 日の議員全員協議会でご説明させていただいたとおり、地方創生拠点整備交付金を申請しておりましたが、国から申請額に対して満額の内示を受けましたことから、しんまち地区の新たな交流拠点となる施設の整備等に係る補正予算のご審議をお願いしたく、招集させていただいたものでございます。

しんまち地区の活性化につきましては、今年度の地方創生推進交付金を活用した「しんまち活性化プロジェクト」が、先月 10 日に市民の皆様を中心とした「富谷しんまち活性化協議会」を設立してスタートいたしました。現在は、ワークショップなどを実施しており、今後、市民の皆様と、しんまち地区の将来に向けた活性化ビジョンを策定してまいります。今回の補正予算を活用した新たな施設整備は、来年迎える富谷宿開宿 400 年記念事業の一環として、しんまち地区の活性化、さらには、本市の新たな魅力の創出に資するものと考えております。

議案審議の際には、詳細にご説明いたしますので、慎重にご審議を賜り、ご可決下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、地方創生内閣府特命担当大臣の片山さつき様が、今回のしんまち活性化プロジェクトに関心を寄せていただいていることから、8月16日に本市を訪問される予定となっております。

当日は、本日ご審議をいただく、地方創生拠点整備交付金を活用して整備する施設の計画地である、しんまちの醤油工場跡地に加え、昨年、同交付金を活用してオープンした、富谷市まちづくり産業交流プラザ（とみふら）をご視察いただく予定となっております。特に、とみふらでは、富谷塾の取組や塾生によるプロジェクトなどを紹介し、片山大臣からは入居企業・団体や塾生の皆さん、そして集まっていたいただいた地域の方々へもご挨拶をいただく予定となっておりますので、しんまちの活性化や起業創業に向けた機運をさらに高める大変良い機会になればと期待しております。

最後に、今月25日に市議会議員の選挙が執行されることに伴いまして、本臨時会が改選前の議員の皆様とは最後の本会議となります。6月定例会の冒頭挨拶でも申し上げましたが、猛暑の中での選挙となりますことから、選挙に臨まれる皆様方におかれましては、お体をご自愛いただき、ご健闘を心よりお祈り申し上げます。

以上、令和元年第3回富谷市議会臨時会が開会されるにあたっての挨拶とさせていただきます。